

平成24年9月定例議会

平成24年9月6日

村長 提案説明

本日ここに、平成24年朝日村議会9月定例会を招集いたしました所、議員の皆様方には、お揃いでご出席をいただき、厚くお礼申し上げます。

初めに、長野地方気象台の発表によります松本測候所の、本年夏（6～8月）の天候、気温につきまして、3ヶ月平均の気温は、明治31年の観測以来7番目の高温であり、その内、8月、1ヶ月の平均気温は25.9℃で観測以来3番目の高温を記録しております。

特に、7月中旬以降は高温が続き30℃以上の真夏日が45日、35℃以上の猛暑日は5日を記録し、通年では、残暑と言われております8月に真夏、猛暑となった年となりました。

この時期の、当朝日農業は、秋野菜の植付時期であり、昭和50年に開始されました梓川ダムからの古見原、西洗馬原への灌水施設は、近年の温暖化、猛暑にも関わらず、農家の皆さんが計画的に作業ができます事に、また、このような今年の気象状況は、鎖川水位の低下により、水田では、出穂期の水が必要な時期に、下流の今井地区との水利権によるトラブルがなく進展できます事は、正に、梓川水系による中信平土地改良連合で取組まれた、先人の皆様に感謝の念を忘れてはならないものでございます。

この様に、暑さ厳しい環境で、国内では熱中症による患者、死亡者が報道されておりますが、松本広域消防局管内では、熱中症による救急搬送が135件という事でございます。当朝日村では、1件の事例でございまして、村民皆様の健康に対する意識と心得が備わっている事に、敬意を表するものでございます。

それでは、この際当面しております懸案事項等につきまして、若干申し上げます。

まず初めに、農業立村としての朝日村農業についてでございます。

去る7月27日のJA松本ハイランド朝日支所、秋野菜生産販売対策会議で、本年度前半の野菜等販売実績は、対前年比、数量では109%、販売価格では107%と前年実績を上回っております、秋野菜の生産販売

に期待をする所でございます。また、この会議に先立ちまして、JA役員の方々と、四国の取引市場に伺い、意見交換をする機会を得ました。中には厳しいご意見をいただきましたが、視察しました7市場の皆さんの感触は、総じて中高冷地の朝日村産「信濃朝日」の新鮮な野菜類が、安定的に供給されるよう期待されている事が実感できました。

そこで、昨年福島第1原発事故による、放射性物質等の拡散に伴います食品の安全性につきましては、県による測定を実施し、土壌、作物、廃棄物等からの放射性物質は検出されておられませんので、村民の皆様には安心いただけるものと捉えております。

なお、9月に入りまして、水稻の収穫期となりますが、去る9月3日に村内の水田、圃場から抽出採種を行い、現在、放射性物質の検査中でありまして、近々に結果の公表がされますので、早場米の生産者の皆様には、検査結果が発表されるまで、出荷の自粛をお願いするものでございます。

次に、去る9月2日（日）に実施しました朝日村地震総合防災訓練についてでございます。

本年は、主会場を入二区で、山形消防署の協力をいただき、全分団参加と、入二防災会の皆さんの参加により、スキー場周辺を会場として訓練を行いました。副会場は針尾防災会で、県の危機管理防災課職員の指導による避難所運営訓練を行いました。古見防災会では、昨年度から取り組みました土砂災害防災訓練、講習会を、松本建設事務所職員により行いました。西洗馬、小野沢それぞれの防災会につきましては、従来からの避難訓練を始め、初期消火訓練を実施する事ができました。

その他、本年は新規訓練として、開業医の三村先生のご協力をいただき、保健士及び担当職員による医療救護訓練を実施しております。

本年度の訓練参加者は、総数1,011人で、昨年から参加者の増加がみられ防災意識の高揚が図られております。

訓練では、特に、主会場の入二区で、消防団の放水訓練が可搬ポンプから可搬ポンプに直結した遠距離中継訓練が効果を発揮したこと。また、古見防災会では、昨年5月29日に発生した、古川寺奥山の土砂崩落により、地域の皆さんに土砂災害に対する意識、理解が一層深まった事は、日常のチェック態勢や、非常時における近隣の皆さんとの助け合い対応について、再確認がされた所でございます。

これらを踏まえ、非常時に備えた安全で安心な村づくりを更に進めてまいります。

次に、保育所についてでございます。

昨年11月から保育所のあり方検討委員会で、5回に亘り研究、検討がされ、去る7月27日に今後のあり方について答申がされました。これを受けまして、8月の保育所運営協議会で了承がされましたので、先般、答申内容を議員の皆様にご説明申しあげた所でございます。村民の皆様には、来る11日に区長会、地区長会を合同で開催して説明を行い、各地区常会に諮っていただく予定でございます。

そこで、保育所の答申内容につきましては、現在は2園の運営でございますが、益々進行します少子社会を迎え、また、核家族化が進行する社会現象は、未満児保育の希望が増加している実情等を踏まえ、保育需要に対応した施設整備を図る必要があるとされ、保護者等のアンケート結果を含め、新築一園化をできるだけ早期に実現する事が答申されました。

今後につきましては、各地区常会等でご理解いただければ、新築一園化への取組みをできるだけ早く進めてまいり所存でございます。

ただし、現在国が進めております、保育園と幼稚園の制度を一元化した認定子ども園構想の動向や、税と福祉の一体改革の流れを注視して取組む所存でございます。

次に、鉢盛登山道についてでございます。

平成18年に林道鉢盛山線の岳沢先線に亀裂が入り、その後一部崩落しましたので、それ以来、林道を通行止めとしております。

この事に関しましては、幾度となく議員の皆様からご質問をいただき来ておりますが、本年3月議会で申しあげました通り、野俣沢につきましては、いくつかの山林崩落箇所があり、なかでも岳沢の崩落箇所が甚大となっております。県が昨年度から5ヶ年計画で、山腹工事に着手した所でございます。

これにより、林道鉢盛山線は引続き通行不可能となりますことから、本年度、村民の皆様等によるボランティアのご協力をいただき、小滝沢手前から、鉢盛山とハト峯を結ぶ尾根に向い、仮設の登山ルート作業を進めまして、近いうちに開設の運びとなりました。

ボランティアで参加されました延50人に及ぶ皆様を始め、関係されました方々に改めて感謝を申しあげる所でございます。

お蔭様で、7年ぶりに村のシンボルであります鉢盛山に登山ができることとなります。

次に、イベントについてでございます。

去る、8月19日にプライムスキー場で開催されました「信州フォークフェスタ」につきましては、天候に恵まれ、9組のアーティスト出演と地元朝日村の2グループが前座で出演し、午前11時半から夜8時まで開演されました。全国的に猛暑が続きましたこの時期に、野外コンサートは、出演者にも、鑑賞者にも清涼感を与え、改めて、当朝日村スキー場での野外コンサートの良さ、評価が高まった所でございます。当日は1,100人の入場者がありましたが、出演者の関係や初の試みということで、主催者の実行委員会では厳しい台所事情のようでございますが、過日、実行委員長さんがあいさつに来庁され、本年を反省に、来年度も開催したいとの事でございます。

村としましては、この様に大きなイベントが民間活力で開催される事の意義、効果を評価できますので、次年度の開催に際しましては、協力依頼状況により議会に相談して進めてまいり所存でございます。私としましては、夏のフェスティバルとして、定着できれば当朝日村のために大変素晴らしい事と捉えております。

その他、村内に移住された工芸家の皆さんがグループを作り、製作体験や作品を販売する「工房マルシェの市」が定期的で開催されるようになりました。この自主的な催しは、朝日村の良さを、魅力を発信する機会になり、心から敬意を表すると共に、一人でも多くの理解者、協力者が増える事を願うものでございます。

また、本年は村民有志で結成されました「フロンティア朝日 生きがいの会」の皆さんが、山里の遊休農地を利用して、野生動物に荒されない作物作りに挑戦されております事に拍手を送るものでございます。

これらの取組みにつきましては、正に自分の住んでいる朝日村を、少しでも住みよい夢のある村づくりに、自主的に汗を流している方々でございまして、村民の皆様には、おっくうがらず興味のある活動に積極的に参加をされ、活動の輪が広がる事に期待をするものでございます。

次に、来る11月13日(火)には、当村出身の大学生「伊東達也」さん卒業記念コンサートを、鉢盛中学校体育館で開催する事になりました。伊東さんは、現在、東京芸術大学声楽科4年生で、声楽の分野で勉強されており、この度、母校鉢盛中学校で、後輩のためにコンサートを開くものでございます。当日は、入場無料で中学生の皆さんは勿論のこと、一般の

方の入場もできますので、大勢の皆さんが観賞されますようご案内いたします。

なお、経費につきましては、今回補正予算をお願いをしております。

次に、財政の健全化についてでございます。

私は、朝日村が朝日村として持続していくため、また、村民の皆様が安心して暮らせる村づくりのために、財政の健全化・安定化は極めて重要な課題として取り組んでまいりました。

今定例会は、前年度、平成 23 年度の決算認定議会でもありますので、国が示します、自治体の健全化指標（項目）等に基づきまして若干申し上げます。

まず、借金の返済比率を表します実質公債費比率につきましては、昨年度より 0.1 ポイント上昇し、13%で、将来負担比率は、昨年度 16.3%でありましたが、本年度は該当なしとなりました。その他、実質赤字比率、連結実質赤字比率は前年同様該当なしとなっております。実質公債費比率は、県内 77 市町村の中位となっております。

そこで、財政運営で重要な事は、経常収支比率でございます、75.2%で前年度より 1.9 ポイント上昇しましたが、弾力性のある財政構造となっており、この事が、村独自の事業に取り組める裏付でございます。当村の経常収支比率は、県内市町村では前年同様に上位にランクされるものでございます。

また、村の借金であります村債と、将来に亘り負担が義務付けられております債務負担を併せました借金の合計は、就任時 90 億円でしたが、平成 23 年度決算では 60 億円となりまして、借金（起債）の金利が高い物件を積極的に繰上償還し、30 億円を減額する事ができました。

そして、貯金にあたります積立金につきましては、就任時 9 億円でありましたが、平成 23 年度決算では 21 億円となり、就任以来 12 億円の積立、いわゆる貯金をする事ができました。

この事が、今後の課題となっております、保育園、役場庁舎、かたくりの里等の新築、改造等の原資となるものでございます。

この様に、借金（起債）を積極的に減少する事は、人口減少時代を迎え、付けを次代に引継がない、また、役場等大型投資も次代に大型の負担をかけない事が、私に与えられた責務として捉えております。

それでは、只今上程されました議案につきまして、ご説明を申し上げます。

本日提案いたしました議案は、条例 1 件、決算 8 件、予算 3 件の計 12 件でございます。

まず、条例につきましては、松本広域連合組合規約の一部改正でございます、事務所を旧波田町役場に移行するものでございます。

次に議案第 49 号から議案第 55 号の平成 23 年度決算について申し上げます。

平成 23 年度の一般会計と 7 つの特別会計を合わせました決算総額は、歳入が 48 億 4, 167 万円、歳出が 46 億 8, 281 万円、また、翌年度へ繰越します財源を差引きました実質収支は 1 億 5, 874 万円で、それぞれの会計で黒字決算となりました。

このうち、一般会計につきましては、歳入が 31 億 7, 724 万円、歳出が 30 億 682 万円となりました。

これにより、形式収支は 1 億 903 万円でございます、翌年度への繰越事業の財源を差し引きます、実質収支は 1 億 891 万円の黒字決算となっております。

特別会計の内、議案第 56 号の塩尻・朝日衛生施設組合決算につきましては、本年 4 月から構成市村の変更に伴い、本年 3 月末に解散しました、塩尻・朝日衛生施設組合の決算認定を、法の定める所により、議会に諮るものでございます。

なお、特別会計でも全 7 会計で黒字もしくは収支均衡の決算となっております。

それでは、昨年度一般会計で取組みました主な事業につきまして若干申し上げます。

まず、人口確保対策の一環として取組んでいる空き家活用事業は 2 年目を迎えて、平成 23 年度成立件数が 5 件で改修費等の補助金 584 万円を交付し、18 人が新たな村民として転入されております。

公共交通のバス対策につきましては、昨年度実証運行最後の年度で村営バスの新車両購入に 1, 900 万円を投入し、利用者の皆様に親しみやすく使いやすい定期バスとして整備をいたしました。

自然エネルギー活用事業では、各家庭の太陽光発電システム補助事業に 26 件の申請を受け 484 万円を補助金として交付し、村民の皆様の要望に応えることができました。

鳥獣被害防止対策では、5, 100万円の事業費で被害防止柵を3km設置し、全体計画の約30%を完了しております。

道路事業では、小野沢幹1号線（堤防道路）の未改良部分54mを4, 800万円の事業で拡幅改良を行いました。

公共施設関係では、「わくわく館」続きの浴室とボイラー室を2, 400万円の事業で「いきなサロン」のくつろぎの部屋と倉庫に改修し、より使いやすい施設といたしました。

また、歴史民俗資料館の外壁の改修工事に1, 100万円投入しております。

次に、特別会計の中で主な事業を申し上げますと、簡易水道特別会計では、10年間の計画で取組みを始めた水道整備事業により、良質で安心な給水を目的に、大尾沢浄水場に濁度計設置と原水遮断弁設置工事に6, 700万円を投入し、大尾沢のおいしい原水を100%給水することができました。

また、あさひプライムスキー場特別会計では、辺地対策事業により、人工降雪機に2億5, 500万円を投入し、最新鋭のスノーマシーン20機を固定式に、1基を移動式とした整備を行いました。

これによりスキー場は、例年より21日早いオープンとなり、同時に雪質も大変よく、年末年始は30%増の利用があり、利用者から好評をいただくことができました。

次に、平成24年度一般会計補正予算（第2号）につきましては、既定の予算の総額に歳入、歳出それぞれ2, 800万円を追加して予算総額を23億3, 100万円とするものでございます。

歳出の主なものは、感染症対策費ポリオワクチン接種方法の変更に伴い、100万円。大石原水路改修工事に360万円。小学校の太陽光発電設備工事に350万円。スケートリンク改修工事に800万円が主なものでございます。

以上、本日提案いたしました議案等につきまして、ご説明申し上げましたが、決算につきましては会計課長から、条例、予算等につきましては担当課長及び担当者に補足説明いたさせますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。